

患者のみなさんと病院をつなぐ

かけはし



超音波検査



外来問診



食事指導



療養病棟のイベント



服薬指導

病院開設の理念

1. 地域住民に信頼される病院
2. 地域医療機関に信頼される病院
3. 職員に信頼される病院



新装置導入 ~がん検診のおすすめ~



放射線科 澤村 敏幸

今年の2月より透視の装置が新しくなりました

検診のときに胃透視を行う装置です。以前より被曝線量が少なく画質が良くなりました。今までの装置は上下方向からの撮影でしたが、新しい装置は、横方向からの撮影も可能です。これまでと同様に受診者の体位変換は必要ですが、“がん”がどの粘膜層や



Cアーム

筋層まで進んでいるのか？お腹を開いた手術が必要か？内視鏡による切除が可能か？などが診断し易い構造になっています。しかし、いくら装置が良くなっても検査を受けなければ、“がん”を発見することはできません。検診の受診率は、欧米の60%台に比べ日本では20%以下で、昨年の芦屋町においては11%でした。当院では、これからも検診の重要性をもっと知ってもらい、“救命可能ながん”を数多く発見したいと思っています。

胃がんになるのは何人にひとり？

検診に来られる方の約10人に1人が要精密になり、その中の70~80人に1人に、“がん”が見つかります。早期がんの確率は約70%で、その中でも内視鏡で切除出来る“がん”は約3人に1人です。“がん”の種類によりますが、今では4cm×4cm位の大きさまで内視鏡で切除出来るようになりました。通常、術後翌日から食事が可能で、当院はその手技(内視鏡的粘膜下層剥離術)が行える病院です。

芦屋中央病院の胃がん検診は？

各自治体で行われている胃がん検診は、検診バスでの10cm×10cmのフィルムで撮影されているものがほとんどです。以前、芦屋町でもこの検診方法でした。しかし5年程前から当院で住民検診が実施されるようになり、早期がんを発見するために精密検査と同じ装置で胃がん検診が行われています。画像の大きさも倍以上あるので見やすく詳細です。

“胃がんの早期発見”には、バリウムを胃の粘膜に十分付着させ、全体を満遍なく観察することが重要です。そのため、以前より体位変換が多かったり、腹ばいになり頭低位の体位になったりと、大変なこともあります。ご協力をお願いします。

検診は認定医師と認定(専門)技師がいる施設で

これからの検診は、受診者が施設や病院を選ぶ時代です。当院でも、その流れに負けない設備に加え、信頼して検診を受けられるよう、櫻井院長をはじめとする消化器科の医師4名、胃透視の専門技師1名、マンモグラフィの認定医師2名、認定技師3名により、高レベルの検診体制をとっています。

また、胸部撮影装置も更新され、放射線科全てのシステムでデジタル化がなされました。このデジタル化により瞬時に前回との比較検討が可能となり、診断力の向上に寄与しています。



これからも健康管理の力添えになれるように頑張りますので、毎年の検診受診をお願いいたします。

訪問リハビリテーションをご紹介します



リハビリテーション科 本村 智子

当院の訪問リハビリは平成5年から近隣病院に先駆けて行っており、芦屋町はもとより、遠賀郡内や若松区、八幡西区へも訪問しています。現在、訪問リハビリを利用されている患者さんは15名です。スタッフは理学療法士が3名と作業療法士が2名おり、入院や外来患者さんのリハビリ訓練を行いながら訪問リハビリも実施しています。

スタッフは入院時のリハビリが開始されたところから、患者さんや家族はもちろんのこと、主治医や病棟看護師と連携を取りながら、早期の機能回復と自宅での生活を見据えたアプローチを積極的に行っています。

また、主治医は当院の医師だけではなく、近隣の開業医の先生もいらっしゃいます。



訪問リハビリでは

- ・通院困難で自宅での訓練を受けたい方
- ・退院後や施設退所後で自宅での生活に不安のある方
- ・自宅での生活に日々介助が必要な方
- ・介助方法や住環境の整備（住宅改修や福祉用具利用購入などの助言）が必要な方
- ・日常生活動作（歩行・トイレ・入浴など）の実用的訓練や指導を受けたい方
- ・日常生活能力が徐々に低下してきている方
- ・介護保険や補装具などについて相談のある方

などの患者さんやご家族に対して、主治医の指示のもとに機能回復訓練や指導を行い、在宅生活をサポートしています。

当院は居宅介護支援事業所や訪問看護ステーションが併設されていますので情報交換もスムーズです。何かありましたら、どうぞ気軽に声をかけてご相談ください。



新任医師の紹介

よろしくお願いたします



内科医師

みやざき み え こ
宮崎三枝子

所属学会：日本内科学会
日本腎臓学会
日本透析医学会
日本骨粗鬆症学会

4月1日より町立芦屋中央病院腎臓内科で働いています。

一人ひとりを大切にしたい医療を行っていきたくと思っています。



内科医師

きんじょう けん
金城 健

所属学会：日本内科学会
日本消化器学会
日本内視鏡学会

今年の4月から町立芦屋中央病院内科に赴任致しました金城 健と申します。

芦屋町をはじめ地域住民・地域医療機関に信頼される医療を心掛けていきますので、今後ともよろしくお願致します。

町立芦屋中央病院外来診療担当表

平成22年5月1日現在

診療科	時間	月	火	水	木	金	土
消化器科	午前	櫻井	青見	大原	高橋	高橋	消化器科、内科医師で交替 (午前のみ)
	午後		櫻井		青見		
内科	午前	呼吸器科 西尾	呼吸器科 西尾		呼吸器科 西尾	呼吸器科 西尾	
		加来	加来	加来	是此田	加来	
			循環器科 櫻井	循環器科 木谷		循環器科 櫻井	
	糖尿病 森	肝臓病 成田	糖尿病 森田		膠原病 辻村	糖尿病 岡田	
午後	是此田	高橋	循環器科 木谷	加来	是此田		
小児科	午前	九大派遣医師	九大派遣医師	九大派遣医師	九大派遣医師	九大派遣医師	
泌尿器科	午前	井上	井上	井上	井上	井上	井上 第2・4は休診
	午後	井上 女性専用	井上				
整形外科	9:00~	野々村	内藤	内藤 野々村	野々村	内藤	2人で交替
	10:30~	内藤				野々村	
	午後		内藤		野々村		
外科	午前	井下	永渕	2人で交替	井下	永渕	2人で交替
	午後	永渕	2人で交替		井下		
眼科	午前			産医大派遣医師		産医大派遣医師	産医大派遣医師
	午後						
耳鼻咽喉科	午前	工藤	工藤		工藤	工藤	
	午後	工藤	工藤		工藤	工藤	
腎外来	10:30~	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	
C T ・ 超音波		小坂	小坂	小坂	小坂	小坂	小坂

受付時間 **午前** [月曜日～金曜日] 11:00まで [土曜日] 10:00まで **午後** 13:00～16:00

●お知らせ●

好天に恵まれたゴールデンウィークが終わり、暦の上では夏の到来ですので体調の変化にも気をつけましょう。

当院では6月12日より特定検診を開始いたします。皆様の受診をお願いいたします。



町立芦屋中央病院

〒807-0101 福岡県遠賀郡芦屋町幸町8番30号
 TEL 093-222-2931(代)
 FAX 093-222-2176
 e-mail hospi@hospi-ashiya-fukuoka.jp
 URL: <http://www.ashiya-central-hospital.jp>



・JR遠賀川駅から芦屋タウンバス「芦屋」行きにて「芦屋中央病院前」下車。徒歩1分
 ・JR折尾駅から北九州市営バスにて「芦屋町役場前」下車。徒歩8分